

日本学術会議社会学委員会「社会統計調査アーカイブ分科会」第24期・第1回会合  
(2018年1月8日 於お茶の水女子大学 本館315会議室 15:00-17:00)

議事要旨

**出席者**

佐藤嘉倫、佐藤岩夫、石井クンツ昌子、今田高俊、岩井紀子、白波瀬佐和子、盛山和夫、園田茂人、玉野和志、大谷信介、吉川徹、近藤博之、真鍋一史

**欠席者**

岩永雅也、原純輔

**議題と決定事項**

**(1) 委員長の選出、副委員長・幹事の指名**

委員長に石井会員、副委員長に玉野会員、幹事に白波瀬会員、園田会員が就任することとなった。

**(2) 今期分科会で議論するテーマ**

佐藤委員から提言「社会調査をめぐる環境変化と問題解決に向けて」(平成29年9月19日)における「3 提言の内容」(iii ページ)をもとに、今期の活動内容に関するブレインストーミングが行われた。

具体的には、提言提出のタイミング、個人情報保護法改正のインパクト、近年の変化を踏まえたアーカイブの形態と機能、ネットワーク化、(若年層の)社会調査のリタラシー形成、ビッグデータをもちいた社会科学的分析、公的な統計調査が抱える問題、海外における統計/世論調査の状況、データ利用と政策形成、調査倫理規定、ビッグデータをめぐる他領域との連携などの話題が出た。

これをもとに、次回までに執行部がアジェンダを整理した上で持ってくることにした。

**(3) 特任連携会員について**

今期1名、特にビッグデータ利用に詳しい方を特任連携会員として推薦することとした。

**(4) その他**

今後分科会会員のメールアドレスを共有し、連絡をとれるようにした。また次回会合日程については、3月下旬~4月初旬で別途検討することとした。